

# みやぎのだより

No. 97

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成29年3月27日



青年部仙南支部・酪青研親善ボウリング大会

## CONTENTS

良質自給粗飼料作り(施肥管理)に係る研修会開催 … 1	畜舎環境美化コンクール審査結果 …………… 5
輸入粗飼料情勢 …………… 2	平成28年度 畜舎環境美化コンクール入賞作品発表 … 6
平成28年度 生乳生産実績 …………… 3	牛群検定～優良事例紹介～Vol.5 …………… 10
生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会 モニタリング実施 …………… 3	酪農技術シリーズ⑤ 酪農研修会「長命連産に向けて①」報告 …………… 11
青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟 交流ボウリング大会 …………… 4	北海道 乳牛産地情報 …………… 13
婦人部石巻支部研修会開催 …………… 4	組合員資格に変動がある場合の届出のお知らせ … 13
創立50周年記念 第45回家畜人工授精優良技術発表全国大会開催される … 5	理事会通信 …………… 13
	業務報告 …………… 14
	編集後記 …………… 15

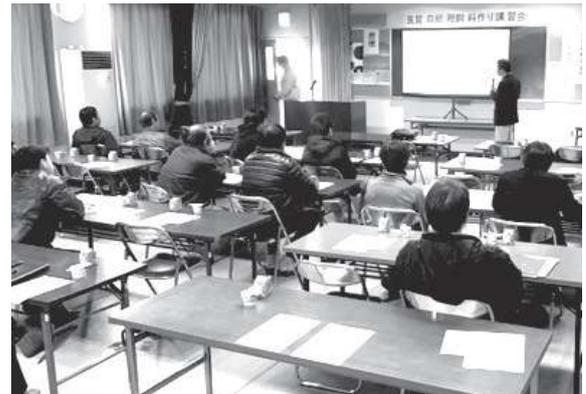
2月14日(火)仙南支所、16日(木)本所に於いて、自給粗飼料作り(施肥管理)に係る研修会を開催しました。仙南支所に23名、本所に28名が参加されました。

今回の研修会は、雪印種苗(株)営業本部、トータルサポート室次長の松本啓一氏を講師に招き『良質な自給粗飼料生産と上手な活用方法』を演題に行いました。

参加者は真剣な表情で研修を受け、施肥と収穫量の関係性や土改材の適正使用、酪酸発酵サイレージ給与の注意点などを質問されておりました。



雪印種苗(株)営業本部 松本啓一氏による講演



研修会写真

## 酪酸発酵サイレージとケトosis

- 50~100gの酪酸摂取  
↓  
潜在性ケトosis(症状が出ない)
- 200g以上の酪酸摂取  
↓  
臨床型ケトosis

例えば、0.5%の酪酸含量のサイレージを20kg給与すると潜在性ケトosisとなり、40kg給与すると臨床型ケトosisとなる。

酪酸発酵とケトosis

## サイレージの発酵品質を改善

サイレージの発酵品質(1番草)

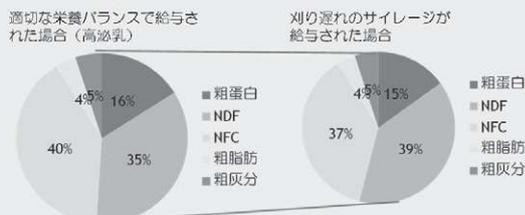
- 早春のスラリー制限(ラグーンへの移動、デントコーンの作付)、乳酸菌の添加により発酵品質を改善した。
- サイレージの水分は発酵品質が悪い時に高かった。
- また、発酵品質が良いと、成分が高い傾向にあった。

項目	24年度産	23年度産	23年度産	22年度産
添加材	サイレージ-AC	サイレージ-AC	無添加	サイレージ
点数	14	7	6	21
pH	3.9	3.7	4.4	4.8
酪酸(濃度%)	0.11	0.02	0.30	0.61
VBH/TH(%)	9.0	7.5	20.6	24.0
Vスコア	83.3	92.0	32.1	28.0

項目	24年度産	23年度産	23年度産	22年度産
添加材	サイレージ-AC	サイレージ-AC	無添加	サイレージ
点数	14	7	6	21
水分	76.3	76.6	80.6	78.8
粗蛋白質	9.6	10.9	10.0	11.8
・TDN	58.5	59.2	54.9	57.1
NDF	69.5	66.9	74.0	70.9
NFC	13.1	12.6	9.0	8.3
加灰分	1.6	2.0	1.6	2.5

発酵品質の改善

## 刈り遅れのサイレージを給与するとバランスはどうなる？



刈り遅れのサイレージが給与されると繊維の比率が高くなり、粗蛋白質やNFC(糖、デンプン他)等の栄養素が低くなる。その結果、食いつきや乳量が減る原因となる。例えばCPの摂取量はDMI24kg×16%=3.8kgがDMI22kg×15%=3.3kgに減ってしまう。

刈り遅れによる変化

## 低カルシウム血症の予防

- 乾物摂取量を高める。
- カルシウム含量の低い粗飼料の給与。
  - 粗飼料は出来れば1.5%以下
- 飼料中のDCABを低くおさえる(20mEq/100g以下にする)。
  - カルシウム、ナトリウムを低くする。
  - イオウ、塩素を高くする⇒陰イオン剤の給与
- マグネシウム含量を高める(乾物濃度で0.3~0.4%)。
- カルシウム濃度を0.3%程度に抑え、カルシウム/リンの比率を約0.85%とする。
- 分娩直後のカルシウム剤の補給。
- 搾乳牛に対してカルシウムをきちんと給与し、骨の蓄えをしておく(出来れば搾乳中飼料のカルシウム乾物濃度は1%とする)。

低カルシウム血症の予防

## ①北米コンテナ船情勢

3月より値上げ予定でありました海上運賃は直前で回避された模様です。4月より再編される海運アライアンスの影響から日本を含むアジアの寄港地へ変更があり、一時的な混乱が予想されます。

## ②配合飼料、哺育代用乳

平成28年度は第1四半期から第4四半期まで改定額のトータルはトン当たり2,200円の値下げ、哺育代用乳はトン当たり7,000円の値上げとなりました。4月以降につきましては為替の円安傾向と原料情勢から若干の値上げ傾向にあると予想されます。

## ③ビートパルプ

日本向けの主産地であるミネソタ、ノースダコタ州では4月後半から17年産の作付が開始され、作付面積は昨年並みの面積になると見込まれております。

## ④アルファルファ

カリフォルニア州南部の一部圃場では2月より収穫が開始されております。作付面積は前年並みですが背景には中国や中東からの資本が投資されており、圃場取得や倉庫建設など新たな動きが始まっている模様です。

ワシントン州では、大雪に見舞われ道路の通行止めや重量規制が行われ、産地から輸出港までの搬入が大幅に遅れております。また、雪解け水が倉庫等に流入し在庫品の水濡れ被害も発生している模様です。

## ⑤チモシー

US産はグレードを問わず16年産は全て完売しており、品物の不足感から値上げが続いております。このことから主産地ワシントン、アイダホ州で17年産の作付面積は16年より増えると予想されます。

主産地レスブリッジのカナダ産についてUS産同様に16年産はグレードを問わずほぼ完売しております。国内、中国向けの需要が堅調であるようです。穀物相場の低迷から17年産の作付面積は増えると予想されます。

## ⑥ストロー

16年産の在庫はほぼ無いようです。韓国の国産ワラ不足による需要や相場の低迷から挽回を目論む生産農家の動きにより産地相場は大きく上昇しております。

## ⑦豪州産オーツヘイ

北米産のチモシーの不足感、中国の需要増加の影響から西豪州のオーツヘイの需要は旺盛でサプライヤーの工場ではフル稼働しております。船会社の船腹も余裕が無く出荷の遅れが心配されます。

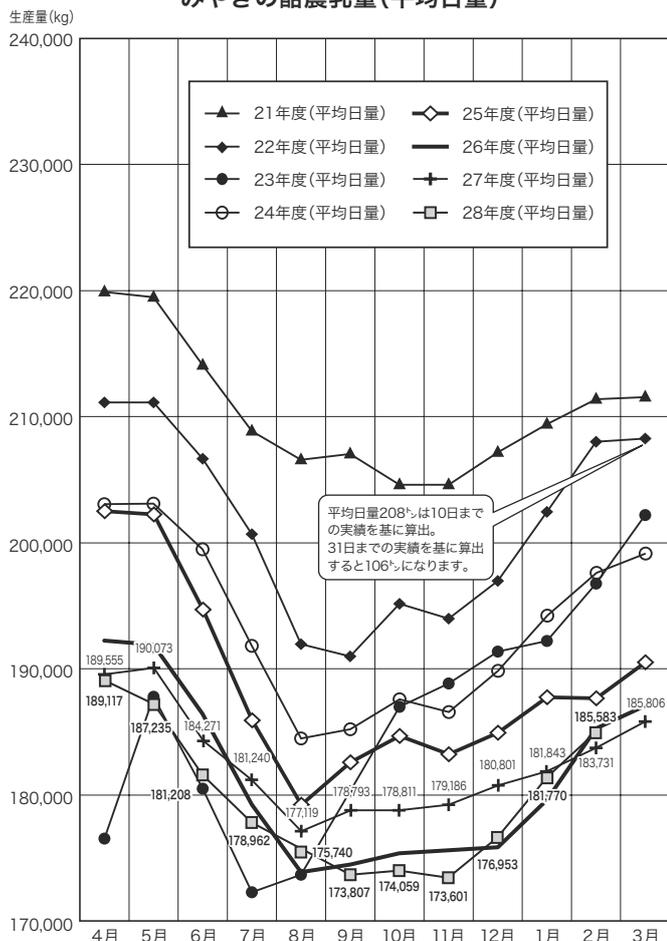
以上このような状況の中、飼料等の安定供給に努めてまいります。

組合員の皆様には、購買事業にご理解を賜り、ご利用くださいますようよろしくお願い申し上げます。

# 平成28年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



平成28年度生乳生産実績(4月～2月 標準進捗率91.51%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	ハルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	22	5,820,732.4	5,900,922.4	98.64	6,494,843.0	89.62
七ヶ宿支部	6	2,072,160.5	1,954,074.1	106.04	2,174,102.0	95.31
蔵王支部	26	7,476,893.1	7,415,486.1	100.83	8,212,058.0	91.05
柴田支部	18	3,852,579.0	3,883,597.0	99.20	4,257,156.0	90.50
角田支部	7	1,930,859.9	1,844,134.0	104.70	2,039,124.0	94.69
丸森支部	13	2,885,998.6	3,074,095.4	93.88	3,398,921.0	84.91
仙台支部	12	3,518,929.1	3,287,176.3	107.05	3,646,989.0	96.49
名取支部	6	878,556.0	834,624.0	105.26	930,442.0	94.42
黒川支部	8	1,356,167.0	1,692,210.0	80.14	1,664,966.0	81.45
大崎支部	22	3,275,187.0	3,234,349.0	101.26	3,574,182.0	91.63
遠田支部	17	5,385,959.0	5,249,444.0	102.60	5,739,991.0	93.83
加美支部	20	2,564,031.0	2,852,978.0	89.87	3,157,996.0	81.19
鳴子支部	14	2,131,473.0	2,174,017.0	98.04	2,410,587.0	88.42
一迫支部	12	2,704,658.0	2,897,401.0	93.35	3,215,554.0	84.11
築館支部	15	1,899,411.0	2,046,685.0	92.80	2,262,090.0	83.97
瀬峰支部	9	1,237,410.0	1,353,038.0	91.45	1,495,649.0	82.73
迫支部	13	3,312,869.0	3,360,046.0	98.60	3,718,595.0	89.09
中田支部	9	1,284,964.0	1,236,337.0	103.93	1,377,999.0	93.25
東和支部	7	1,124,270.0	1,186,461.0	94.76	1,316,060.0	85.43
志津川支部	9	1,129,772.0	1,067,378.0	105.85	1,179,025.0	95.82
本吉支部	11	972,323.0	1,147,409.0	84.74	1,268,777.0	76.63
石巻支部	6	1,021,398.0	1,116,029.0	91.52	1,239,311.0	82.42
豊里支部	12	2,208,015.0	2,260,950.0	97.66	2,510,583.0	87.95
みやぎの酪農	294	60,044,615.6	61,068,841.3	98.32	67,285,000.0	89.24

※出荷戸数については、直近の数字です。

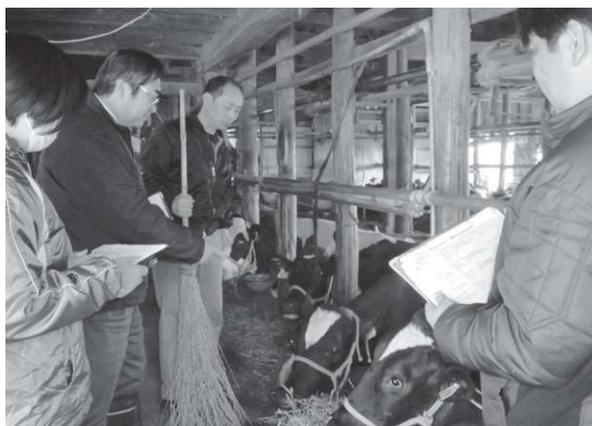
## 生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会 モニタリング実施

指導課

2月28日(火)、3月3日(金)に「生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会」が県内4地区において、酪農生産現場での管理基準遵守状況とチェックリスト記入のモニタリングを実施しました。宮城県協議会は県・乳業メーカー・酪農団体・共済連・獣医師会・動物医薬品団体・飼料団体・検査団体で構成されています。

組合員294戸を対象とした2月時点でのチェックシートの記帳状況は、重点項目すべての記帳率は93%、一部項目の未記入が7%でした。

今後も、記帳・保管はもとより、処理室内の清掃・整備等を実施されるようお願いいたします。



## 青年部仙南支部・酪青研仙南地方連盟交流ボウリング大会

指導課

2月11日(土)大河原町「ボウルジャンボフォルテ」にて青年部仙南支部と酪青研仙南地方連盟共催の第16回交流ボウリング大会を開催しました。

毎年恒例となっているこの活動は部員間の家族ぐるみの交流を目的にこの時期に開催しています。最近は小さな子どもたちや若い後継者の参加が多くなり、会場では一投ごとに大きな歓声や拍手・笑い声があがっていました。これからの酪農を担う子どもたち、後継者や仲間との大切な交流の場となりました。



## 婦人部石巻支部研修会開催

指導課

1月25日(水)松島町の「花ごころの湯 新富亭」にて婦人部石巻支部の研修会を開催しました。講師に(株)明治の利光保則氏を講師にむかえ「ヨーグルトで健康いきいき！乳酸菌について」と題して行いました。ヨーグルトなどの乳製品の効果や人によって乳酸菌に相性があることなど、興味深い内容でした。

研修会終了後は懇親会を行い、部員同士の交流を深めました。



## 創立50周年記念

# 第45回家畜人工授精優良技術発表全国大会開催される

指導課

平成29年2月15日に東京都港区新橋のヤクルトホールにおいて、創立50周年記念、第45回家畜人工授精優良技術発表全国大会が行われ、本組合の仙台支部(松島町)高橋光浩さんが、「誰でもできるホルスタイン種分娩間隔400日で乳量1万kg」と題して発表されました。

全国各地から選ばれた14名が各々の取り組みを発表され、家畜人工授精技術の発展向上に顕著な功績があると認められた方、又は家畜人工授精を通じ、家畜改良増殖に顕著な業績をあげたと認められた方に大賞(西川賞)が授与されるとのことです。惜しくも大賞には選出されませんでしたでしたが、素晴らしい発表内容であったとのことを選考委員からいただいたようでありました。発表されました高橋光浩さん、発表に携わっていただいた方々、大変ご苦労様でした。

## 畜舎環境美化コンクール審査結果

指導課

2月21日(火)、本所大会議室で「畜舎環境美化コンクール」の審査会を開催しました。

同コンクールは、畜産のイメージアップをはかるとともに畜産物の消費拡大を推進するため、県内の酪農家の環境保全意識向上を図り経営の安定的発展を目的として、年度当初に全戸に配布された花の苗を育て、その苗(花)を基調として牛舎周辺を草花で彩りその美しさを競うこととなっており、婦人部の後援により毎年開催しています。



また、審査方法は県内各地から写真により出品(昨年5月から11月までに撮影された草花に彩られた牛舎周辺の写真)された環境美化の成果を評価し、宮城県畜産課草地飼料班・菅原賢一技術補佐、婦人部・甲田部長をはじめ16名の審査員が審査にあたりました。

厳正なる審査の結果、次の方々が受賞されました(受賞作品参照)。最優秀賞の吉田明美さんは、併せて宮城県知事賞を受賞されました。

平成28年度

畜舎環境美化コンクール

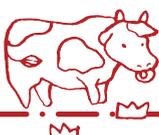
# 入賞作品発表



最優秀賞

仙南支部

吉田明美さん



優 秀 賞

石巻支部

伊藤生子さん



優 秀 賞

石巻支部

横田孝子さん



優良賞

栗原支部

砂金奈生さん



優良賞

栗原支部

千田悦子さん



優良賞

石巻支部

須藤しづ子さん



優良賞

仙南支部

佐久間幸枝さん



優良賞

本吉支部

及川すきぶさん



## 有限会社 半澤牧場 (はんざわぼくじょう)

### ●牧場の概要

- \*所在地：宮城県伊具郡丸森町
- \*飼養頭数：経産牛：200頭、育成牛：85頭、黒毛和種繁殖牛：15頭、黒毛和種子牛：90頭
- \*年間出荷乳量：約2,000t
- \*補正乳量：約10,500kg/頭

### ●牧場のこだわり

毎日の「牛」を観察することを基本としています。年度初めには、コンサルタントを交え、繁殖や乳量に関して1年間の目標を立てて、受胎率の向上や乳量の増産を図っています。

牛群改良も積極的に行っており、共進会等にも出品しています。最近特に取り組んでいるのが、エリートジェネティクス(株)と(株)ノースブル両者の協力で、ゲノム解析(従来の遺伝評価にDNA情報を組み合わせた遺伝評価方法、信頼度約70%)の利用と、OPU-IVF技術(生体内卵子吸引による体外受精)の利用による、牛群改良のスピードアップです。子牛の時期にゲノム解析を実施し、早い段階でその牛の能力を遺伝的に解析します。この解析によって、泌乳能力や体型だけでなく、繁殖、体細胞数、在群期間等の健康形質まで調べることができるようになりました。この情報を活用して、収益性の高い若齢雌牛から吸引した卵子に、高能力種雄牛の性判別精液を交配した受精卵をつくり移植しています。このような技術の導入により、改良スピードが早くなり、優良な雌牛を効率的に生産することもできるため、早期に牛群が揃えられと考えています。

当牧場でのこの取り組みが、今後の地域の酪農振興に繋がることを期待しています。



(株)ノースブル 金田獣医師によるOPU

### ●牛群検定の活用方法

牛群検定データは、飼料会社のコンサルタントに「繁殖台帳webシステム」を見てもらっています。牛群検定の乳量や乳成分の推移・バランス、MUN等の項目をチェックしてもらい、牧場の目標達成に向けた飼料設計の見直し等を行います。このように、当牧場では牛群検定データを「牛たちにとって給与している飼料が合っているか・合っていないか(牛の能力を最大限に引き出せているか)」を確認するために役立てています。

以前は、牛群検定データから保留する牛か淘汰する牛か等といった判断をしていましたが、現在ではゲノム解析に頼ることがほとんどです。しかしながら、ゲノム解析はあくまでも遺伝子レベルの話です。「実際はどうか?」というところが一番大事なポイントとなります。そのポイントを検証するのに牛群検定が活用できると考えています。これからOPU-IVF産子が続々と出てきます。今後、牛群検定を活用しながらゲノム解析の有用性が検証されていくことを期待します。

### ●牧場から一言

将来的に技術開発が進み、ゲノム解析等の牛の能力を検証するツールが増えてくると思います。しかしながら、牛の能力を見る際に、そのような最先端技術「だけ」ではいけないとも考えています。

自分の飼っている牛がどんな能力を持っているか?本当に能力を発揮できているか?給与飼料は適切か?等、「実際」を検証するには牛群検定が有効であると実感しています。

(文:宮城県大河原農業改良普及センター 松原)



(有)半澤牧場 代表取締役社長 半澤 善幸さん

牛群検定には6ヶ月間無料で体験できるお試し検定事業があります。  
牛群検定を始めてみようかな、と思われた方は下記までご相談下さい。

- ・宮城県ホルスタイン協会 ((一社)宮城県畜産協会内) TEL: 022-298-9750
- ・県南乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会仙南事業所内) TEL: 0224-52-2523
- ・県北乳用牛群改良組合 ((一社)宮城県畜産協会中央事業所内) TEL: 0229-34-3304

## 酪農研修会「長命連産に向けて①」報告

1月18・19日に行われました酪農研修会を、2回に分けて報告します。テーマは「長命連産にむけて」です。講師は全酪連 成田修司技術顧問です。日頃の管理をチェックされることをお勧めします。

### ■何故「長命連産」とならないのか？

原因の多くは、周産期疾病／乳房炎／繁殖障害／肢蹄問題などの故障による非任意的(予定外)淘汰です。可能ならば任意的(計画的)淘汰によって、生産性／体型／健康問題に関して不良形質遺伝子は牛群から排除し、遺伝改良を進め生産性の高い牛群にしたいところです。

まず淘汰理由として、何が一番大きいかを知り、手を付けるべきです。

年 除 籍 台 帳															NO.				
淘汰 年 月 日	牛 No	分娩 年 月 日	産 次	理 由											乳用 売却	処 分 死 産 売	備 考		
				乳房 炎	乳器 障害	繁殖 障害	蹄病	運動 器病	消化 器病	起立 不能	事故	気質	低 能力	その他 疾 病					
1 16 1 11	202	15 9 13	2	○			○											死 産 売	
2 2 21	185	15 3 17	4			○												死 産 売	
3 2 21	210	15 5 10	2	○		○	○											死 産 売	
4 5 3	225	16 3 21	1										○	○			○	死 産 売	
5 6 18	192	16 7 15	3								○							死 産 売	
6																		死 産 売	
7																		死 産 売	

該当する淘汰理由をすべてチェックします。各理由の合計数により、農場で一番大きな淘汰理由を確認します。多くは故障による非任意的(予定外)淘汰と思われます。今回は上記の疾病に関する対策を中心に話をします。

### ■乾乳期管理

分娩前後(移行期)の管理が、その後の健康、生産、そして繁殖にとっての鍵です。分娩前に積極的に食べる牛でなければ、分娩後も積極的に食べる牛になりません。結果的に、分娩前に食べない牛は生産性が低く問題を抱えやすくなります。

乾乳日数は40日未満にしないことが推奨され、受胎確認後、カレンダーなどに乾乳予定日(とりあえず分娩予定60日前)を記入しておき、早く分娩することを考慮すると、少なくとも分娩予定日45-50日前が目安になります。また、乾乳時乳量(損益分岐点)で乾乳日を判断し、乾乳時の妊娠確認は非常に重要な作業で、右側下腹部下方を押すと、「コツコツ」と胎児に触れることができます。

乾乳方法は、一般的には急速(一発)乾乳法が推奨されます。乳量が高い場合は、搾乳回数を減らし乳量が低下するのを待つ間欠乾乳法も採用できます。最後の搾乳後、PLテスターで乳房炎をチェックし、陽性分房は無菌的にサンプリングして凍結保存し、乾乳期間中に培養検査をします。培養検査で黄色ブドウ球菌が検出されたら、分娩後は永久的に隔離/最後に搾乳します。

新しい感染を招かないように、搾乳後にポストディップ、拭取り、アルコールで乳頭の先を拭き、乾乳軟膏注入後に、もう一度ディップします。全ての牛の全ての分房に対して、最後の搾乳直後に乳房内乾乳治療を行うことが、現在推奨されております(全米乳房炎審議会推奨案)。

乾乳牛施設はカウ・コンフォートを優先し、牛を清潔で、乾いた、安楽性の良い環境に置き、分娩時に感染している分房を可能な限り少なくします。乾乳1週間後に乳頭の50%、1ヵ月後でも25%の乳頭口が開いたままで、新しい乳房感染のほとんどは、乾乳期間に始まり、分娩後1-2ヵ月で臨床性になり、泌乳初期に臨床性乳房炎になると、初回授精の遅れ、受胎率の低下、分娩間隔の延長が見られます。

乾乳後期ではストレスを避け、この時期の環境的／社会的／栄養的ストレスが体脂肪動員を招き、乾物摂取量を落とします(諸悪の根源)。またストレスで免疫機能も低下しますので、過密は避けます(80%まで)。

暑熱ストレスは、分娩後の生産性、繁殖および健康に影響し、生まれる子牛にも影響(妊娠期間が短い、体重が小さい、初乳中抗体の吸収能力が劣る)しますので、乾乳期も暑熱対策が重要です。

## ■分娩時管理

分娩の進行を静かに観察すれば、多くの場合は母牛と子牛のパフォーマンスを高めることができ、分娩には人の忍耐が極めて重要です。

出来る限り自然(自力)分娩させたいので、そのためには分娩房が理想です。

分娩介助は衛生的に、正しく行うためにも、分娩経過を正しく理解する必要があります。



### 参考：分娩の経過

1. 羊膜囊が見えてから蹄が見えるまで (15 分間)
2. 蹄が見えてから頭部が見えるまで (15 分間)
3. 頭部が見えてから肩が見えるまで (15 分間)

羊膜囊、蹄、頭部、肩がそれぞれ15分遅れで現れ、この速度で進展しない場合には、介助すべき時かも知れないです。正常な経過では、羊膜囊か蹄が見えてから子牛が生まれるまで70分間です。

初乳の搾乳は、分娩後時間経過すると、追加の牛乳生産で、初乳中抗体濃度が薄まる可能性があり、通常の搾乳前準備を行って搾乳し、少なくとも6L搾乳します。

分娩後の処置として、Ca製剤／プロピレングリコール(ケトース経口治療薬)および湯(18～36L)の給与は利益があります。



## ■分娩後の管理

多くの簡易的／自動的検査がありますが、それでも私たちの感覚(目、手、耳、および鼻)で、健康状態を正確に評価するには、カウ・コンフォートを保証し、十分な観察が必要です。

- ①乾物摂取量をモニター
- ②不調ならば体温を測定
- ③ケトン体の検査は有効
- ④第1胃(ルーメン)の動きを観察
- ⑤獣医師の協力を得て、定期的訪問でフレッシュ・チェックを実施(分娩後28日以降での子宮外口部の肉眼的検査、分娩後40日以降での卵巢活動検査)

分娩後の生殖器の回復面では、潜在性子宮内膜炎が意外と多く、調査では12%が重度／27%が軽度の子宮内膜炎であり、分娩後悪露の観察だけでは見逃す可能性があります。

卵巢の周期活動確認も重要で、初回排卵が遅れると初回授精の遅れ、受胎率の低下で空胎日数が長くなり、調査では、分娩後35日以内の初回排卵牛の空胎日数→152日、分娩後35日以降の初回排卵牛の空胎日数→213日で、大きな差があり、初回発情の確認時期がポイントになります。

また、乳牛のエネルギーバランスと初回排卵は関連があり、エネルギーバランス最下点(最もエネルギーが不足している日)から15日後に排卵することが分かっており、分娩後35日以内に排卵させるためには、エネルギーバランス最下点を分娩後20日以内にすることになり、分娩後の飼料摂取・飼料給与がとても重要になります。

※紙面の関係で飼料給与面の説明を省略しており、興味のある方はお問い合わせください。

今回の「長命連産に向けて②」では、積極的な繁殖管理／乳房炎の抑制／蹄の健康管理を説明します。

資料提供:全酪連仙台支所

平成29年3月1日現在

	畜種	相場(万円)	価格状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	45~55	横這い
	初妊牛	80~90	やや弱含み
	経産牛	50~55	横這い
釧路管内	育成牛(10-12月令)	55~65	横這い
	初妊牛	85~100	横這い
	経産牛	55~65	横這い
帯広管内	育成牛(10-12月令)	55~65	やや強含み
	初妊牛	90~95	やや弱含み
	経産牛	55~65	横這い
道北管内	育成牛(10-12月令)	50~60	横這い
	初妊牛	85~95	やや弱含み
	経産牛	55~70	やや強含み

3月の初妊牛動向につきましては、5月～6月の分娩牛が中心となります。昨年来、上昇を続けてきた初妊牛相場は、2月に入り一服となっております。しかしながら、今後メガ・ギガファームの大口導入もあり需給がタイトに推移する事から初妊牛価格の大幅な下げは無いと思われませんが、市場の価格推移を見守る必要があるようです。

## 組合員資格に変動がある場合の届出のお知らせ

総務課

定款で定める組合員資格要件を満たしているか否かを定期的に確認し、資格を満たさない組合員については資格変動手続きを行う等適切に対応することが求められています。

代表者の氏名、住所、組合員たる資格の別に変更があった場合は、直ちにその旨を書面で組合へ届け出るようになりますので、管轄の本所、支所、事業所までお申出下さい。

## 理事会通信

総務課

### 【第10回理事会】

開催日 平成29年1月30日

付議事項 第1号議案 総務委員会および業務委員会からの答申について  
(平成29年度事業計画骨子(案)について)

### 【第11回理事会】

開催日 平成29年2月28日

付議事項 第1号議案 役員賠償責任保険の更新について

1月6日	遠田支部役員会	本		所
1月10日	迫支部研修会	登	米	市
1月11日	DMS相談会	仙	南 支	所
1月12日	DMS相談会	本		所
1月16日	角田・丸森支部合同研修会	丸	森	町
	東北酪農生産研究会海外研修報告会・研修会～ 17日	岩	手	県
1月17日	農業競争力強化プログラム・サテライト説明会	仙	台	市
	豊里支部研修会	登	米	市
1月18日	酪農講習会	本		所
1月19日	酪農講習会	仙	南 支	所
1月20日	(一社)Jミルク理事会	東	京	都
	蔵王36畜産クラスター協議会	蔵	王	町
	畜産特別資金推進事業指導班会議	仙	台	市
	畜産近代化リース協会貸付事業打合せ会	仙	台	市
	仙台支部研修会	仙	台	市
1月23日	鳴子支部研修会	大	崎	市
1月24日	経済事業における内部統制整備研修会	仙	台	市
	青年部石巻支部研修会	登	米	市
1月25日	安全運転管理者講習	仙	台	市
	県牛乳普及協会・支所担当者合同会議	仙	台	市
	婦人部登米支部研修会	登	米	市
	婦人部石巻支部研修会	松	島	町
	指定団体機能強化推進委員会専門部会	仙	台	市
1月26日	スマートフィーディング実証事業現地検討会	茨	城	県
	DMS相談会	本		所
	東北酪農青年女性会議役員会	仙	台	市
	柴田支部研修会	村	田	町
1月27日	生乳取扱者研修事業フォローアップ研修会	仙	台	市
	国際水準GAP認証取得支援事業説明会	仙	台	市
	飼料生産型酪農経営支援事業全国説明会(テレビ会議)	仙	台	市
	志津川支部研修会	南	三 陸	町
	青年部仙台支部研修会	仙	台	市
1月28日	蔵王支部北原尾ガンパロー会総会・新年会	蔵	王	町
1月30日	第10回理事会	本		所
1月31日	DMS相談会	仙	南 支	所
	三住酪農組合新年会	白	石	市
2月1日	青年部栗原支部視察研修会	仙	台	市
2月2日	特例年金制度完了組織協議・事務責任者会議	仙	台	市
	牛海綿状脳症(BSE)対策の見直し説明会	仙	台	市
2月3日	全酪連酪農セミナー 2017	仙	台	市
	遠田支部交流会(ボウリング大会)	大	崎	市
	本吉支部懇談会	大	気 仙 沼	市
	中心的な経営体の育成推進セミナー	岩	手	県
	東北生販役員報酬審議会	仙	台	市
2月6日	中田支部研修会	登	米	市
	福島県酪農協県南支所視察研修	蔵	王	町
2月7日	東和支部研修会	気	仙 沼	市
	DMS相談会	仙	南 支	所
	宮城県牛群検定普及推進協議会作業部会	仙	台	市
2月8日	DMS相談会	本		所
	日本酪農政治連盟東北ブロック協議会総会	仙	台	市
	農林業経営サポート資金利子補給事業説明会	仙	台	市
2月9日	指定団体長懇談会	東	京	都
	宮城県酪農ヘルパー利用組合役員会	本		所
	生乳改革に関する緊急意見交換会	東	京	都

2月10日	丸森町町営放牧場放牧検討会・研修会 婦人部栗原支部研修会 黒川支部支部会議	丸 栗 大 大 角 仙 大 栃 東 大 神	森 原 和 河 原 田 南 支 崎 木 京 崎 奈 川	町 原 町 市 所 市 県 都 市 都 市 所 市 町 所 都 市 市 所 都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月11日	青年部仙南支部・酪青研親善ポウリング大会	大	河	原
2月13日	丸森支部館矢間地区研修会	大	角	田
2月14日	自給飼料生産等講習会 青年部大崎支部ポウリング大会 全酪連監事・役職員研修会 ～ 15日 酪政連事務局長・事務担当者会議	仙 大 栃 東 大 神	南 支 崎 木 京 崎 奈 川	所 市 県 都 市 都 市 所 市 町 所 都 市 市 所 都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月15日	加美支部ポウリング大会 (一社)全国酪農協会酪農未来塾 ～ 16日	大 神	崎 奈 川	都 市 都 市 所 市 町 所 都 市 市 所 都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月16日	自給飼料生産等講習会 輸入搾乳用素牛(豪州産)取扱説明会	本 仙 松 本 東 気	台 島 京 沼	所 市 町 所 都 市 市 所 都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月17日	婦人部仙台支部研修会 業務委員会 (一社)Jミルク理事会	本 東 気	京 沼	所 都 市 市 所 都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月20日	蔵王36畜産クラスター協議会視察研修 ～ 21日 青年部親睦ポウリング大会	仙 本 東 東 本 松 本 大	仙 台 京 京 本 島 崎	市 市 所 都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月21日	畜舎環境美化コンクール審査会 畜産クラスター情報交換会 日本酪農政治連盟常任・中央委員合同委員会 宮城県牛乳普及協会ミルクファミリーキャンペーン抽選会	東 東 本 松 本 大	京 京 本 島 崎	都 都 所 町 所 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月22日	宮城酪農 酪農講演会 総務委員会 畜産特別推進指導事業研修会	仙 仙 大	台 台 崎	市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月23日	宮城県牛群検定推進協議会 東北酪農生産研究会会員女性職員交流研修会 ～ 24日 婦人部本吉支部研修会 受精卵移植関連新技術全国会議 酪農乳業産業基盤強化特別事業・需給見通し説明会	仙 仙 大 茨 仙 仙 石 仙 大 栗 大 塩 仙 本 仙 本	台 台 崎 城 台 台 卷 台 崎 原 崎 釜 台 南 支	市 所 所
2月24日	東電損害賠償宮城県協議会第53回総会 石巻支部研修会 宮城県仙台家保管内畜産担当者会議 健康保険委員・年金委員合同研修会	仙 仙 石 仙 大 栗 大 塩 仙 本 仙 本	台 台 卷 台 崎 原 崎 釜 台 南 支	市 所 所
2月25日	築館・一迫・瀬峰支部合同会議	大	崎	市 市
2月27日	鳴子支部施肥管理講習会 婦人部大崎支部部員交流会 東北酪農専門団体協議会研修会	大 塩 仙 本 仙 本	崎 釜 台 南 支	市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 所 所
2月28日	第11回理事会 DMS相談会 酪政連宮城県支部連合会役員会・監査会 (株)みやぎの運送取締役会	仙 本 仙 本	南 支	所 所

## [ 編集後記 ]

本紙が発行される頃には、桜の開花がテレビなどで取り上げられてるでしょうか。春は、農作業が忙しくなる時期でもあります。休憩など、ちょっとしたときに少しでも春を感じてもらえたらと桜の紅茶を紹介します。

温めた牛乳に紅茶を入れてミルクティーを作り、そこへ桜の花の塩漬け(塩を落としたもの)を入れるとほんのり桜の香る紅茶になります。砂糖はお好みでどうぞ。

発行 .....

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

**みやぎの酪農農業協同組合**

TEL.(0229)34-2311(代表)